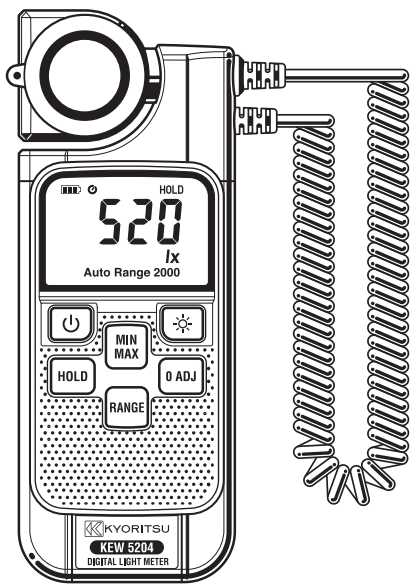


取扱説明書



デジタル照度計

照度計シリーズ

KEW 5204

共立電気計器株式会社

保証書

KEW 5204	製造番号
保証期間	ご購入日(年 月 日)より1年間

共立製品をお買い上げいただきありがとうございます。保証期間内に正常なご使用状態で万一故障が生じた場合は、保証規定により無償修理をさせていただきます。本書を添付の上ご依頼ください。

お名前	
ご住所	
TEL	

- ◎本保証書に製造番号、ご購入日、およびお名前、ご連絡先をご記入の上、大切に保管してください。
 - ◎本保証書の再発行はいたしません。
 - ◎本保証書は日本国内でのみ有効です。
- This warranty is valid only in Japan.

保証規定

- 保証期間内に生じた故障は無償で修理いたします。ただし、下記事項に該当する場合は対象から除外させていただきます。
- 取扱説明書と異なる不適切な取扱い、または使用方法が原因で発生した故障。
 - お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障。
 - 弊社サービス担当者以外による改造、修理が原因で生じた故障。
 - 火災、地震、水害、公害及びその他の天変地異が原因で生じた故障。
 - 傷など外観上の変化。
 - その他弊社の責任と見なされない故障。
 - 電池など消耗品の交換、補充。
 - 保証書のご提出がない場合。



共立電気計器株式会社

本社 〒152-0031 東京都目黒区中根 2-5-20
東京オフィス ☎03(3723)7021 FAX. 03(3723)0139

1. 使用上の注意 (安全に関する注意)

この取扱説明書には、使用される方の危険を避けるための事項および本製品を損傷させずに長期間良好な状態で使用していただくための事柄が書かれていますので、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

- ▲警告
- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
- 製品本来の使用方法および取扱説明書で指定した使用方法を守ってください。

○本製品に表示の ▲ マークは、安全に使用するため取扱説明書を読む必要性を表しています。尚、この ▲ マークには次の3種類がありますので、それぞれの内容に注意してお読みください。

- ▲危険：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が高い内容を示しています。
- ▲警告：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
- ▲注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ▲警告
- 本製品の分解、改造、代用部品の取り付けは行わないでください。修理・調整が必要な場合は、弊社または販売店宛にお送りください。

- ▲注意
- 高温多湿、結露するような場所および直射日光の当たる場所に本製品を保存や使用はしないでください。また、必ずレンズ保護カバーをして保管してください。
- 本製品の運搬、取り扱いに際しては、振動や落下等の衝撃を避け、本製品が損傷しないよう注意してください。
- クリーニングには、研磨剤や有機溶剤を使用しないで中性洗剤か水に浸した布を使用してください。
- 本製品はほこりの多い環境や水のかかる環境下で使用しないでください。故障の原因になります。

安全記号

	人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場合に付いています。
	本製品は、WEEE指令(2002/96/EC)マーキング要求に準拠します。この電気電子製品を一般家庭廃棄物として廃棄してはならないことを示します。

2. 特長

- 本製品は、JIS A級準拠のデジタル照度計です。
- 0.1~199900ルクスまでの広範囲な測定レンジとオートゼロアジャスト機能を搭載し、高精度な照度測定が可能。
- MAX/MIN表示機能、バックライト付きの大型LCDの採用

3. 各部の名称 / 機能説明

- ① レンズ保護カバー
- ② 光センシングプローブ
- ③ LCDディスプレイ
- ④ 電源ボタン：電源がオンの状態でこのボタンを再度押すと、電源がオフになります。オートパワーオフ機能を無効にするには、ホールドボタンと電源ボタンを押しながら電源を入れてください。
- ⑤ バックライトボタン：このボタンを押すと、LCDバックライトのオン/オフを切り替えることができます。電池の消耗を防ぐため、キー操作を行わない状態で30秒間続いた場合、自動的にバックライトがオフになります。
- ⑥ ホールドボタン：このボタンを押すと、測定データが保持されます。
- ⑦ Max/Minボタン：このボタンを押すと、MAX/MINモードに移行します。この機能は、ボタン押下時から測定値を記録し、最大、最小および現在の読み取り値の3つの値を読み取ることができます。MAX/MINモードを終了するには、このキーを3秒間押し続けてください。
- ⑧ レンジ切替ボタン：このボタンを押すと、以下のオート及び各マニュアルレンジに切り換えることができます。AUTO, 200, 2000, 20000, 200000 lx
- ⑨ 0 ADJボタン (使用方法は5. 測定方法を参照ください。)
- ⑩ バッテリーキャビネットカバー：バッテリーの容量セグメントが1未満の場合は、バッテリーを交換する必要があります。バッテリーは単3形乾電池が2つ必要です。



4. 仕様

機種名	KEW 5204
JIS クラス	JIS C 1609-1:2006 A級 準拠 (直線性)
受光素子	シリコンフォトダイオード
測定範囲	0.0~199,900 lx
レンジ	199.9/1,999/19,990/199,900 lx
分解能	0.1 lx
直線性	±4%rdg±5dgt (23°C±2°C基準)
斜入射光特性	10°±1.5%, 30°±3%, 60°±10%, 80°±30%
温度特性	±5% (23°C基準、0~40°Cの範囲において)
可視域相対分光応答特性	標準分光視感効率からの外れ:9%
応答時間	オートレンジ:5s 以下 マニュアルレンジ:2s 以下
オートパワーオフ機能	30分
外形寸法	169(L)x63(W)x37(D)mm
質量	210g
使用電池	単3形乾電池R6 x 2本
使用温湿度範囲	0°C~40°C, 相対湿度80%以下 (結露しないこと)
保存温湿度範囲	-10°C~60°C, 相対湿度70%以下 (結露しないこと)
連続使用可能時間	約 80 時間
適合規格	JIS C 1609-1:2006, IEC61326
付属品	携帯用ケース、取扱説明書、単3形乾電池×2個

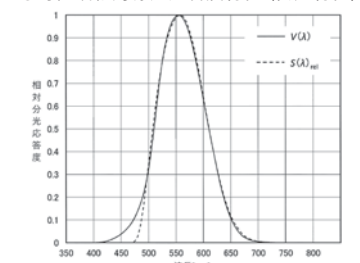
●受光面均一性について
センシングプローブ受光面の内面は、受光感度が均一ではありません。照度ムラのある光や、受光窓の一部に光を入射して面積換算する照度測定では、正しい照度値を得ることができません。

●距離の逆二乗則の成立する距離範囲
測定基準面より100cm以上

●標準イルミネラントAに対する
照明光源の色補正係数

一般蛍光ランプ F6	1.01
蛍光ランプ F8	1.02
蛍光ランプ F10	1.03
高圧ナトリウムランプ	0.99
メタルハライドランプ H1	1.02
メタルハライドランプ H2	1.01
高圧水銀ランプ	1.01

●可視域相対分光応答度特性 (代表特性)



・JISで規定されている場所による照明例

照度範囲 (lx)	3,000	2,000	1,500	1,000	750	500	300	200	150	100	75	50	30	20	15
事務所				玄関ホール(昼間) 役員室		受付、食堂 宿直室		階段					屋内非常階段		
工場		極めて細かい視作業		設計室 製図室			制御室、電気室 倉庫、便所、洗面所	階段					屋内非常階段		
学校				製図室		教室、教職員室、食堂 体育館、宿直室		階段							
保健医療施設				手術室 救急室		被服教室、電子計算機室 実験実習室 図書閲覧室、保健室	講堂、集会室 ロッカー室 洗面所、便所		廊下				病室	非常階段	
							X線室、物療室 運動機械室、宿直室 内視鏡検査室、X線透視室						眼科暗室		
商店一般共通事項		陳列の最重要部				エレベーターホール エスカレーター、一般陳列品		応接室 洗面所、便所		廊下、休憩室					
						重要陳列部、レジスタ 包装台	商談室		階段						
食堂、レストラン 軽飲食店						サンプルケース	レジスタ、帳場		階段						
							調理室、食卓	待合室、客室 洗面所、便所		玄関、廊下					
劇場・映画館							入場券売場	観客席、ロビー、電気室 機械室、洗面所		玄関、休憩室 映写室、廊下				モニタ室 (上映中)	
								売店、楽屋		モニタ室、階段 奈落作業場所				映写室 (上映中)	
旅館、ホテル						フロント、帳場、事務室	車寄せ玄関、食堂		階段				庭の重点		
							調理室、客室、机	宴会場、広間、ロビー 洗面所、便所、脱衣室		娯楽室、客室 廊下、浴室					
美容、理髪店							結髪、毛染、セット ノーキャップ	調整、顔そり、着付 洗髪、レジスタ			階段				
										店内便所					

照度を規制した法令
労働安全衛生規則・事務所衛生基準規則・理容師施行規則・風俗営業取締法・消防施設令・建築基準法施工令等があり、各々の場所での法定照度が規定されています。